

報告書(案)に対する委員意見について

平成22年7月30日

| ページ | 箇所 | 根小田委員長 | 高村委員 | 武田委員 | 戸田委員 | 中越委員 | 橋本(誠)委員 | その他(行政管理課) | 備考 |
|-----|---------------------------|--|------------------|---|--|--|---|--|----|
| 5 | 1. 4. 3 経営者 *印 | | | | | | | 県職員の派遣期間が最長3年という縛りがあり ↓ 県職員の派遣期間が原則3年以内(最長5年)という縛りがあり 理由:「公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律」第3条による。 | |
| 9 | 2. 2. 1 3年を限度とする在任期間 | | | | | | | 公社に勤務する職員は高知県からの出向者があり、3年を限度の在任期間となっているが ↓ 公社に勤務する職員は高知県からの出向者があり、3年を限度の在任期間となっている(原則3年以内(最長5年以内))。理事長も3年が限度となっているが 理由:「公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律」第3条による。 | |
| 10 | 2. 3. 2 競争なき発注 | | | | | 公社自体は事業を行うことはなく、育林事業や伐採事業は外注に出している。外注先はエリアが特定されている森林組合に限定されており、競争なき発注が常態化している。 ↓ 公社自体は事業を行うことはなく、育林事業や伐採事業は外注に出している。外注先は事業の受け皿として他の事業者が存在しなかったことから、エリアが特定されている森林組合に限定されていたが、近年では、森林組合以外の林業事業者を含め競争入札により事業の発注が行われている。 理由:公社営の造林事業がスタートし、植林、保育が集中した昭和36～50年頃は、日本の高度成長時代と重なり、造林事業の性質上、事業を長期にわたって委託できる事業者は、地域の森林組合しか存在しなかった。しかし、近年では建設事業者等森林整備事業者が出現し、競争入札により事業の発注を行っている。 | | 公社自体は事業を行うことはなく、育林事業や伐採事業は外注に出している。外注先はエリアが特定されている森林組合に限定されていたが、平成20年の林野庁指導もあり競争原理を導入し始めているものの、競争なき発注の常態化を解消するまでには至っていないのが現状である。 理由:公社では競争入札は行われていないが、400万円を超える新規の保育事業は2者見積をしおり、H17から合い見積もりがおこなれている。(H21は21契約中2件民間団体。内1件は400万円以下の利用間伐での随意契約。) | |
| 11 | 2. 4. 1 多額の人件費(下から2行) | | | 「収支が赤字…人件費支出が行われるのは異常…」 意見:現時点では需要事業にかかる収入がほぼ発生していない時点であるにもかかわらず、現状認識において(というか、現状認識に際してのことばの使い方もかもしれませんが)若干の食い違いを感じとまどいを感じております。 | | | | | |
| 13 | 2. 5. 3 収益管理不足(下から3行目) | | | 「赤字企業に対しては、その経営の妥当性を検証し…」 意見:11ページと同じ | | | | | |
| | 2. 6. 1 管理者不足(2行目) | | | 「慢性的な赤字体質の企業には…」 意見:11ページと同じ | | | | | |
| 14 | 2. 8. 1 慢性的な歳出超過(1行目) | | | 「核となる収益事業がなく…」 意見:11ページと同じ | | | | | |
| その他 | 第5回委員会での意見 | ・2078年までという予測が不可能ほど長期なものについて、将来収支見通し出す意味があるのか。 | ・主伐後の造林対策を議論すべき。 | ・報告書(素案)について、問題点の困難性、実現可能性等、強弱をつけた分析表を作成してもらいたい。 ↓ ・5ページ、2. 窮境原因に文章を挿入。 ・15ページに、2. 9「窮境原因」についての総括」を挿入。 | ・国の政策の基、公社は個人では達成できない所をやってきた。経営が厳しいというのは仕方のないこと。 ・材価が下がったことが一番の原因。 ・例えばC、D、Eランクの森林、クヌギ、松等採算の見込みがない森林は土地所有者と協議し、放棄(切り離し)するとか考える必要がある。 ・主伐後の造林対策を議論すべき。 | ・経済性だけではなく、山村経済、環境面の評価も入れてもらいたい。 | ・今のランク分けの基準はわかりにくい。 ・今後のランク分けについては、投資額の割合が回収できるかという考えの方が良いのではないかと。 ・長期収支見通しは、現在材価に置き換えて見直す必要があるのではないかと。 | | |